

H30年度 身体障害者の地域移行支援者向け研修会ワーキング 振り返り・評価シート

H31年3月18日作成

1 今年度の活動について

【今年度の方針】

障害者支援施設(身体障害者系)からの地域移行普及啓発のため支援者向けの研修を企画し実施する。

【今年度の取り組み内容】

開催回数	10回	開催月	7月、8月、9月、10月、12月(2回)、1月 2月、3月(研修会実施を含む)
------	-----	-----	--

具体的活動内容

- (1)H29年度ワーキングでの意見(研修に必要な要素)をふまえて、活動期間(8月～)で研修の構成・内容を決定する。
⇒開催日時(時間数)、場所、講師、回数、カリキュラム(獲得目標)、対象者(人数・経験年数)、主催者(市が主催となった場合は検討の際に福祉課職員に参加していただく)等
- (2)1月頃をめどとして研修会を実施する。

【今年度の取り組み結果】

(今年度の活動からどのような結果となったのかを記載)

障害者支援施設からの地域移行を含む「どこで、だれと、暮らしたいか」という希望に基づき、支援を實踐できる職員の育成を目的とした支援者向け研修会を実施した。

【取り組みの成果】 ※モニタリングを実施した場合のみ

(取り組みの結果が「どのように地域へ還元できたのか」をモニタリングから確認した内容の記載)

2 今年度の振り返り及び評価について

【今年度、協議会活動を通じての振り返り(メンバーの感想・意見)】

メンバーが協議会での活動を通じて感じたことや気づき、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、長岡市協議会の運営や体制に関する課題・意見等

- ・研修の立ち上げ、準備にはとても時間が必要。ワーキングメンバーとして、立ち上げに携わることはめったになく学ぶ機会となった。
- ・客観的に研修会を見ることが大事。参加者の意見を聞き取る必要がある。
- ・参加職員が制度、福祉サービスについて知識がまだまだないことがわかった。
- ・それぞれの講義がそれなりにつながりのあるものとなった。
- ・グループワークでは、参加者が想像力を膨らませ意欲的に取り組まれていた。

【協議会の機能について】

今年度の活動の中で(活動の振り返りから)、どのような協議会の機能があったかを確認する。

※協議会の機能詳細については別紙を参考。

	確認した機能の内容 (どのような部分が機能であったか、なかった場合はなぜなかったか等)
情報機能	・各施設の現状を知れた。
調整機能	・参加者同士顔が繋がった。 ・よりよい企画のため繰り返し会議を実施できた。
開発機能	・研修実施できた。 ・地域移行 = どこでだれとくらしたいかという考え方ができた。
教育機能	・研修実施でき、参加者も企画側も学ぶ機会となった。 ・参加者も会議に出られたらよい。
権利擁護機能	
評価機能	・地域移行の新しい考え方ができた。

【今年度の振り返り・協議会の機能から確認できた成果】

※モニタリングによる成果(地域へ還元できたかどうかの成果)とは異なることに留意

- ・普段から他施設との交流も少なく、研修に参加する機会も少ないため参加職員にとってよい刺激になった。ポジティブな考え方になれたように参加職員の様子から伺える。
- ・地域移行(どこでだれとくらしたいか)に特化した研修はレア。敷居が低く身近な研修会だった。

3 来年度の取り組みについて

来年度の継続	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 終了
継続・終了の理由	H30年度に実施した研修会の効果等をモニタリングのうえ、障害者支援施設からの地域移行等に関する支援向け研修会を継続して実施するため。

※部会を一旦終了とする場合については、運営会議にて協議の判断材料とできるようその理由を明確に記載すること。

今年度の取り組みに対するモニタリングの実施	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	モニタリング実施時期	H31 年 5 月
-----------------------	--	------------	-----------

※ワーキングのみ記載

【振り返り・評価内容を受けて、来年度改善を行うこと】 ※来年度継続の場合

会議内容や方法に取り入れることなど、具体的に記載する。

・H31年度も支援者向け研修会を実施予定とするが、内容についてはモニタリングを実施のうえ精査を行い、主旨・目的に添った内容で研修会を実施できるようにする。
 ・支援者向け研修会の対象者については、基本的にH30年度同様に身体障害系の障害者支援施設の職員とするが、相談支援事業所の職員も対象とすることを視野に入れる。
 ・H31年度のワーキングメンバーについては、H30年度同様のメンバーとする。※必要に応じて追加も検討する。

【来年度の方向性・具体的取り組み内容や引継ぎ事項等】 ※来年度継続の場合

- H30年度に実施した研修会のモニタリングとして、H30年度の研修受講者に対してヒアリングを実施する。
 → 実施した研修会の効果や内容について確認を行い、実施予定の研修会の修正材料とする。
- 実施したモニタリングをもとにH31年度に実施する研修会内容等について検討を行い、研修会を実施する。